

雪

たねニュース

令和2年(2020年)1月1日発行(隔月1回1日発行)

- ごあいさつ
- 2020年北海道向け飼料用トウモロコシ新品种のご紹介
- アメリカ・カナダ視察レポート
- 第71回日本酪農研究会 千葉県成田市にて開催
- 道央支店・道東支店より新年のご挨拶
- 第61回雪印メグミルク杯ジャンプ大会 ●雪印メグミルクのお料理レシピ

ごあいさつ

2020年の新春を迎え、皆様におかれましては穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また日頃より弊社事業につきましましては特段のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2018年弊社による「種苗法違反、品種偽装、隠ぺい事件」につきまして、お客様、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけ致しましたこと改めて深くお詫び申し上げます。二度と同じことが繰り返されない様に、再発防止策の完全実施を全社一丸となって取り組み、お客様、関係者の皆様の信頼回復に努める決意でございます。

2019年の国内の生乳生産においては、度重なる台風など自然災害により都府県の生産量が減少することになり、北海道の生産量に期待が掛かったところですが。北海道においては春から秋にかけて干ばつ気味ながら好天が長く続いたことにより、良質な一番牧草が収穫されたと聞いております。これにより生乳生産が増産となることが期待されます。

2020年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、オリンピックの開催だけではなく、今後の畜産物輸出拡大や農畜産業の国際競争力の強化を図る観点から、GAPの取り組み及び認証取得の拡大を図っていく必要があると言われております。TPP11(環太平洋パートナーシップ協定)や日欧EPAの発効の中、日米貿易協定も発効となり北海道の農畜産物生産額が大きく減少するとの試算

も公表されたようです。どの程度、北海道農業に影響を及ぼすか今もなお懸念が続いております。

年号も「平成」から「令和」に改元され、新たな時代へと変化しております。令和は万葉集「梅花の歌」が由来であります。新年号の意味は春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花の様に、一人ひとりが明日への希望と共に、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願いを込め、決定したとの事です。

弊社と致しましても、創業の精神である「健土健民」と社是にある「技術と誠意で農業奉公」を改めて見つめなおし、そうした会社であり、時代の変化に乗り遅れることのないよう、創立100年を目指し新たな時代を邁進してゆく所存でございます。社会の一員として信頼回復を目指し、改めて生産者の皆様方のお役に立てる様、酪農・畜産の生産現場に密着した商品と技術を開発していくことが責務と捉えています。これからも「環境保全型農業」の支援に向けて事業を展開し、地域環境に適した自給飼料の増産と有効活用により、持続的に農業を発展させるため、酪農・畜産の振興と地域の活性化に貢献したいと考えております。

2020年の皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げご挨拶と致します。

2020年元旦

雪印種苗株式会社
代表取締役社長 高山 光男